

2025 年度

慶應義塾大学
大学院経営管理研究科
後期博士課程

入学試験要項

入学試験の内容についての最新情報は、当研究科ウェブサイトでお知らせしますので、今後の案内にご
注意ください。



慶應義塾大学

個人情報の取り扱いについて

慶應義塾では個人情報の取扱いに際して「慶應義塾個人情報保護基本方針」および「慶應義塾個人情報保護規程」を遵守し、適正かつ安全に管理します。

出願および入学手続、ならびに入学後にお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、慶應義塾各部門におきまして、①入学試験実施(出願処理, 試験実施, 合格発表), ②入学手続, ③学事(学生が関与する学術研究活動を含みます。)に関する管理, 連絡および手続, ④学生生活全般に関する管理, 連絡および手続, ⑤大学内の施設・設備利用に関する管理, 連絡および手続, ⑥寄付金, 学校債, 維持会および慶應カードの募集等に関する連絡, ⑦本人および保証人宛に送付する各種書類の発送その他の連絡, ⑧三田会(同窓会), 経営管理研究科同窓会, 慶應義塾経営管理学会に関する書類送付とこれらに付随する事項を行うために利用します。また、個人が特定できないように統計処理した個人情報のデータは、本学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。

上記の業務は、その一部を慶應義塾より当該業務の委託を受けた業者(以下、「受託業者」といいます。)において行います。業務委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。また、慶應義塾では三田会(同窓会), 経営管理研究科同窓会, 慶應義塾経営管理学会活動を支援する一環として、卒業後も三田会(同窓会), 経営管理研究科同窓会, 慶應義塾経営管理学会から要請があった場合は、所定の手続および審査の上で必要な範囲内において個人情報を提供することがあります。その他、法律上開示すべき義務を負う場合や、学生本人または第三者の生命/身体/財産を保護するために必要であって本人の同意を得ることが困難な場合など、法令上の例外事由に該当する場合には、第三者に個人情報を開示することがあります。

慶應義塾は、以上の場合を除いて、同意なく、個人情報を第三者に開示いたしません。

各手続にお進みいただいた場合には、以上の点にご同意いただいたものと取り扱わせていただきます。予めご了承ください。

安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和および安全の維持を妨げることが無いよう、「外国為替及び外国貿易法」等に基づく安全保障輸出管理(国外への貨物・技術の持ち出し・送付等, および国内での外国人等(外国人研究者・留学生等)への技術提供について、経済産業大臣の事前許可が必要かどうかの事前確認を含む)を行っています。それにより、<希望する教育が受けられない場合や研究ができない>場合があります。

※安全保障貿易管理の詳細については、以下の経済産業省のウェブサイトを参照してください。

《経済産業省ウェブサイト》<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/>

目次

教育目的と方法	1
入学試験・出願	1～9
入学時期・募集人員	
選考方法	
出願資格	
出願および選考日程	
選考時間割・会場	
受験票について	
受験当日の諸注意について	
口頭試問について	
出願までの流れ	
出願書類	
指導教員	
出願に関する注意事項	
出願書類の提出先および郵送方法	
入学検定料	
合格発表	9
第一次選考合格発表	
第二次選考合格発表	
入学手続	9～12
入学手続期間	
入学手続書類について	
入学に必要な費用(初年度納付金)	
提出する入学手続書類	
入学手続書類の提出先および郵送方法	
入学手続に関する注意	
入学辞退について	
奨学制度	13
慶應義塾大学教育ローン制度	14
慶應義塾大学大学院経営管理研究科同窓会	14
慶應義塾教育振興資金(寄付金)・慶應義塾債(学校債)について	14
講義案内	15～16
履修条件の概要	
研究教育分野と後期博士課程設置科目	
課程修了の認定および学位の授与	

教育目的と方法

経営管理研究科の教育的使命

個としての自立心, 他の尊厳を重んずる精神, 明確な使命感, 卓越した見識, 果敢な実行力等を合わせ持つ, 優れた革新的リーダーを育成することにより, 人間社会の進歩に寄与する。

慶應義塾大学大学院経営管理研究科は, 修士課程(2年間)と後期博士課程(3年間)から成る大学院研究科です。2年間の修士課程は, 経営管理に関する実務家の養成を目的としており, 課程修了者には修士(経営学)(MBA)の学位が授与されます。それに対して3年間の後期博士課程は, 経営に関する専門的な研究・教育機関において研究と教育活動に携わる研究者を養成すること, および研究・教育機関以外の専門機関において高度の専門家として活躍しようとする人材を育成することを目的としています。

本研究科後期博士課程では, 経営管理に関する専門科目を履修することに加え, ケースと呼ばれる教材を自ら作成すること, 選択した研究領域の総合試験を受験し合格することが, 博士論文に着手する要件となっています。したがって, 本後期博士課程は, 上述の目的に適う資質のある学生であれば各自の出身大学大学院修士課程の専攻分野を問わず受験することが可能ですが, 十分な勉学意欲と問題意識を持つことが受験および課程修了に当たって強く求められています。

入学試験・出願

入学時期・募集人員

2025年4月入学 経営管理専攻 8名

選考方法

- [1] 第一次選考：書類審査
- [2] 第二次選考：口頭試問

出願資格

資格 A.と B.の両方を満たす者

資格 A. 次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学院修士課程または専門職学位課程を修了した者および 2025 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および 2025 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (3) 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第 118 号参照)
- (4) その他, 本研究科が修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた 24 歳以上の者

*上記(4)に該当する者とは, 大学を卒業した, または日本国外において学校教育の 16 年の課程を修了した後, 入学までに大学, 研究所等において 2 年以上研究に従事した者で, 当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると大学院経営管理研究科が認めた者を示す。

資格 B.

(1) 出願期間初日から遡って 2 年以内に実施された TOEFL iBT において、73 点以上のスコアを取得した者であること。

(2) 日本国籍を持たない出願者で、日本国内において日本語を主たる言語として用いる学位課程で学士号または修士号を取得していない場合には、日本語検定試験 (JLPT)N1 に合格したものであること。ただし、日本の大学院修士課程または専門職学位課程に相当する学位課程を 2025 年 3 月 31 日までに修了見込みの者については、「日本語能力試験 認定結果及び成績に関する証明書」の提出を免除する。

上記の資格 A.の(3)および(4)による出願を希望する場合は、出願に先立ち、出願資格認定申請による事前審査が必要になりますので、次の期間内に必要書類を日吉学生部大学院担当経営管理研究科後期博士課程入試係に、日本国内からは**速達(簡易)書留**、日本国外からは**国際スピード郵便(EMS)**、FedEx, DHL 等の追跡ができるサービスを用いて郵送してください(期間内必着)。

提出期間： 2024 年 10 月 28 日(月)～11 月 5 日(火)

該当する出願資格	必要書類
上記 (3) (4)	<p>1 出願資格認定申請書 (所定用紙)</p> <p>2 出願資格認定申請用履歴書 (所定用紙) (※学歴は小学校から記入してください。)</p> <p>3 最終学歴の卒業証明書・成績証明書</p> <p>4 出願資格認定申請理由書</p> <p>(書式は自由。職務経歴, 研究歴, 業績等がある場合にはそれも含めて, 大学院修士課程を修了した者と同等以上の学力があると考えられる理由を記述してください。なお, 業績に関する参考資料 (原著論文, 研究報告書, 著作, 特許申請書の写し等) があれば添付してください。)</p> <p>※書類は全て原本を提出してください。日本語または英語以外で書かれた証明書は和訳または英訳し, その翻訳内容が原本と相違ないことについて, 出身大学等の所在する国の大使館や公証処で証明を受けてください。</p> <p>※所定用紙はウェブサイトからダウンロードしてください。</p> <p>※履歴書・各種証明書・参考資料で氏名が異なる場合は, 戸籍抄本・住民票等, 同一人物であることを証明する公的証明書を提出してください。(住民票の場合は, マイナンバーの記載がないものに限りです)</p> <p>※審査結果は本人に通知します。</p>

日本国籍以外の方は、パスポートに記載されている氏名を使用してください。また、通称名を用いる場合は、住民票に記載されている通称名に限ります。

出願および選考日程

出願期間	2024年11月29日(金)～2024年12月11日(水)
第一次選考合格発表	2025年1月8日(水)13:00
第二次選考(口頭試問)	2025年2月2日(日)
第二次選考合格発表	2025年2月5日(水)13:00
入学手続期間	2025年2月5日(水)～2月17日(月)

出願期間内に後述する方法で入学志願者調書の情報入力・出力を行い、他の出願書類とともに郵送してください。

選考時間割・会場

[1] 第二次選考

口頭試問

2025年2月2日(日)

各人の集合時間については、第一次選考合格発表時に掲載する「第二次選考 口頭試問 時間割表」で確認してください。

[2] 選考会場

日吉キャンパス 協生館 4階

受験票について

受験日当日までに、申込確認画面の「受験票」ボタンより受験票 PDF を白色の A4 用紙縦向きで印刷してください。本学からの受験票送付はありません。

受験票を印刷したら、氏名、受験研究科、その他記載内容が出願した内容と相違ないか確認してください。万一記載に誤りがある場合には入試係に連絡をしてください。

また、試験当日は受験票を折り線部分で折った上で必ず携帯してください。受験票を忘れた場合および紛失した場合は、試験場入口で案内係に申し出てください。

受験当日の諸注意について

- (1) 個人的事由により口頭試問の試験時間に遅刻した場合、試験開始後 10 分までは受験を認めますが、試験時間の延長はありません。10 分を超える遅刻であれば、受験は認めません。
- (2) 試験会場周辺の公共交通機関の乱れ・遅れによる遅刻の場合は、受験を認めることがあります。係員に申し出てください。
- (3) 試験会場周辺の交通公共機関に大幅な乱れ・遅れが生じ、試験当日、多くの受験生に影響があると本学が判断した場合、試験実施に支障をきたさない範囲で全体の試験時間を繰り下げることがあります。ただし、このことに伴う受験生の個人的損害について本学は責任を負いません。
- (4) 出願時に後述の出願書類⑥としてスコアレポートのコピーを提出した場合、第二次選考当日に原本の確認を行います。該当者は出願期間初日から遡って2年間に受験した TOEFL iBT (Home Edition は不可) の 73 点以上のスコアを証明する(試験実施団体から受験者本人に郵送で発行された)公式スコアレポート原本を必ず持参してください。当日、有効な書類を確認できなかった場合は受験を認めません。

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。

口頭試問について

- (1) 各人の集合時間は、第一次選考合格発表時に掲載する「第二次選考 口頭試問時間割表」で確認してください。
- (2) 控室では係員の指示・誘導に従ってください。
- (3) 決められた集合時間に遅れた場合は、原則として欠席となり受験することはできません。

出願までの流れ

- (1) 出願期間内に大学院経営管理研究科ウェブサイトからインターネット出願登録に進み、必要項目を入力し出願登録を行ってください。

<https://www.kbs.keio.ac.jp/graduate/phd/application.html>

出願登録(インターネット)後は、出願者本人が登録内容の変更をすることはできません。登録を完了する前に必ず内容をよく確認してください。万が一、誤った情報を登録してしまった場合は、入学検定料のお支払い前であれば、改めて初めから入力し直してください。支払い後であれば、再登録をせず、入試係までお問い合わせください。

- (2) 入学検定料の支払いと証明写真(顔写真)データアップロード完了後、入学志願者調書、宛名ラベルを出力し、その他必要書類と一緒に提出してください。
- (3) 出願書類を指定期日までに郵送してください。

出願書類

- ・英語での提出が認められているもの以外は、出願書類はすべて日本語で記入してください。
- ・出願書類が一度入試係に提出された時点で出願書類に不備・不足のあるもの、出願期間を過ぎたものは受理できません。
- ・④、⑤について、出身大学(在籍大学)の規則により、要件を満たす証明書を用意できない場合は、必ず**出願期間開始日より前**に入試係へお問い合わせください。問い合わせ期間を過ぎた場合は、次回以降の入学試験への出願をご検討ください。
- ・日本国籍以外の方は、パスポートに記載されている氏名を使用してください。また、通称名を用いる場合は、住民票に記載されている通称名に限ります。

提出書類	注意事項
①入学志願者調書	(1)入学検定料を支払う前に、希望する指導教員に早めに連絡を取り、研究計画等についてよく相談してください。 各研究・教育分野の指導教員はP.7のとおりです。 なお、教員の研究教育内容およびE-mailについては、研究科ウェブサイト(https://www.kbs.keio.ac.jp/faculty/)から確認することができます。 (2) 入学検定料の支払いと証明写真(顔写真)データアップロード完了後、入学志願者調書を片面出力で4部印刷してください。

	<p>(3) 4部それぞれについて複数枚にわたる場合は、左肩をホチキス留めしてください。</p> <p>(4) あわせて4部を提出してください。</p>
②研究計画書	<p>(1) 入学志願理由・研究歴・研究テーマを含む内容とし、日本語または英語(A4 横書き・様式自由)で作成してください。研究テーマについては、問題意識、研究目的、研究方法、具体的な仮説、予想される結論、研究の意義などについて、最大3ページにまとめてください(仮説については、萌芽的な仮説でも可)。</p> <p>(2) 研究計画書の表紙には氏名と研究テーマを明記してください。</p> <p>(3) 研究計画書は片面出力で4部印刷し、4部それぞれについて複数枚にわたる場合は、左肩をホチキス留めしてください。</p> <p>(4) あわせて4部を提出してください。</p>
③希望する指導教員からの出願承諾メール	<p>希望する指導教員に研究計画について相談し、出願することについての同意を得たメールを印刷し提出してください。</p>
④出身大学学部の卒業証明書および大学院修士課程の修了(見込)証明書	<p>(1) 出身大学(在籍大学)長又は学部長が作成したものを提出してください。電子版証明書および電子版証明書を印刷したものの提出は認めません。</p> <p>(2) 原本または原本の複製であると公的に証明されたもの以外は受け付けられません。コピーの提出は認めません。</p> <p>(3) 日本語または英語で書かれたものに限りです。それ以外の言語で記載されている場合は、必ず日本語または英語の翻訳と、翻訳証明書を添付してください。「翻訳証明書」とは訳文が原本と同一内容であることを証明する書類です。翻訳証明書は出身大学等の所在する国の大使館や公証処に依頼してください。</p> <p>(4) 用紙右上の余白に整理番号を記入してください。</p> <p>(5) 2025年3月31日までに修了見込みの出願者は、大学院修了見込み証明書を提出してください。</p> <p>(6) 複数の大学(院)を卒業・修了(見込み)の出願者は、それぞれの卒業・修了(見込み)証明書を提出してください。</p> <p>(7) 編入・退学等で複数の大学(院)にまたがって在籍した(している)出願者は、それぞれの卒業・修了(見込み)証明書(退学の場合は離籍を証明する書類)を併せて提出してください。また、学士学位課程が異なる複数の課程から構成される場合は、大学入学から卒業までの全ての期間を網羅するよう、それぞれの課程の証明書を全て提出してください。</p> <p>(8) 学位授与機構から学士・修士号学位を取得、および2025年3月31日までに修士号学位を取得見込みの出願者は、学位授与証明書(学位授与申請受理証明書)を代わりに提出してください。</p> <p>(9) 日本国外の大学を卒業(修了)した出願者で、卒業(修了)証明書に取得学位が記載されていない場合は、学位取得証明書も併せて提出してください。</p>

<p>⑤出身大学学部の成績証明書および大学院修士課程の成績証明書</p>	<p>(1) 出身大学(在籍大学)長又は学部長が作成したものを提出してください。電子版証明書および電子版証明書を印刷したものの提出は認めません。</p> <p>(2) 原本または原本の複製であると公的に証明されたもの以外は受け付けられません。コピーの提出は認めません。</p> <p>(3) 日本語または英語で書かれたものに限りです。それ以外の言語で記載されている場合は、必ず日本語または英語の翻訳と、翻訳証明書を添付してください。「翻訳証明書」とは訳文が原本と同一内容であることを証明する書類です。翻訳証明書は出身大学等の所在する国の大使館や公証処に依頼してください。</p> <p>(4) 用紙右上の余白に整理番号を記入してください。</p> <p>(5) 複数の大学(院)を卒業・修了(見込み)の出願者は、それぞれの成績証明書を提出してください。</p> <p>(6) 編入・退学等で複数の大学(院)にまたがって在籍した(している)出願者は、それぞれの成績証明書を併せて提出してください。また、学士学位課程が異なる複数の課程から構成される場合は、大学入学から卒業までの全ての期間を網羅するよう、それぞれの課程の証明書を全て提出してください。</p> <p>(7) 学位授与機構から学士・修士号学位を取得、および2025年3月31日までに修士号学位を取得見込みの出願者は、学位申請に関わる全ての成績証明書を代わりに提出してください。</p>
<p>⑥語学能力証明書(英語)</p>	<p>(1) 出願期間初日から遡って2年間に受験した TOEFL iBT(Home Edition は不可)の73点以上のスコアを証明する(試験実施団体から受験者本人に郵送で発行された)公式スコアレポート(コピー可)を必ず提出してください。</p> <p>(2) スコアレポートのコピーを提出した場合、第二次選考当日に原本の確認を行いますので、上記公式スコアレポート原本を必ず持参してください。有効な書類を確認できなかった場合は受験を認めません。</p> <p>(3) TOEFL iBT の MyBest scores は採用しません。</p> <p>(4) TOEFL iBT 以外の証明書は受け付けません。</p>
<p>⑦語学能力証明書(日本語)</p>	<p>日本国籍を持たない方で、日本国内において日本語を主たる言語として用いる学位課程で学士号、修士号を取得していない場合には、次の書類を提出してください。</p> <p>日本語能力試験(JLPT)N1(旧試験の場合は1級)に合格していることがわかる「日本語能力試験 認定結果及び成績に関する証明書」(コピー可、有効期限は定めません。)</p> <p>ただし、日本の大学院修士課程または専門職学位課程に相当する学位課程を2025年3月31日までに修了見込みの者については、「日本語能力試験 認定結果及び成績に関する証明書」の提出を免除します。</p>
<p>⑧修士論文およびその要約</p>	<p>(1) 修士論文またはこれに準ずる論文4部およびその要約4部を提出してください。</p>

	<p>(2) 要約は 8,000 字以内に収めてください。</p> <p>(3) 本大学院経営管理研究科修士課程修了および修了見込みの受験者は、論文の要約のみ提出してください。</p> <p>(4) 提出した論文の返却希望者には郵送で返却しますので、第二次選考合格発表後 2025 年 3 月 5 日(水)までに日吉学生部大学院担当経営管理研究科後期博士課程入試係まで申し出てください。</p>
⑨推薦状 1 通	<p>(1) 推薦状執筆者に厳封を依頼し、厳封のまま 他の出願書類とともに提出してください。推薦状の封筒に、出願者のご自身の名前を書いてください。</p> <p>(2) 日本語または英語で書かれたものに限りです。</p> <p>(3) メールによる提出は認めません。</p> <p>(4) 可能な限り、修士論文指導教員など、出願者の学力を客観的に評価できる大学教員、国立研究機関研究員等、研究・教育を本務とする推薦者に執筆を依頼してください。</p> <p>(5) 慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了者は提出を免除します。</p>
⑩その他の別添資料	<p>(1) 証明書類とその他の出願書類の氏名が異なる場合は、戸籍抄本・住民票等、同一人物であることを証明する公的証明書を提出してください。</p> <p>(2) 希望する場合は、⑧に加え、研究教育分野に関する研究論文を参考資料として提出することができます。</p> <p>(3) 資料右上の余白に整理番号を記入してください。</p>

指導教員

研究教育分野ごとの指導教員一覧です。受験するにあたっては、希望する指導教員と研究計画等について相談等を行ってください。

研究教育分野	総合経営政策	生産政策	経営環境	マネジリアル・エコノミクス
指導教員	岡田 正大 劉 慶紅	坂爪 裕	後藤 励 武田 史子 中村 洋	大林 厚臣 林 高樹 渡邊 直樹
研究教育分野	組織行動	マーケティング	経営財務	会計
指導教員	浅川 和宏 清水 勝彦 林 洋一郎	井上 哲浩 坂下 玄哲 余田 拓郎	小幡 績 齋藤 卓爾 高橋 大志	太田 康広

*教員の表記は分野ごとの 50 音順

出願に関する注意事項

- (1) 出願書類が一度入試係に提出された時点で出願書類に不備・不足のあるもの、出願期間を過ぎたものは受理できません。
- (2) 一度出願登録(インターネット)が完了すると、それまでに登録した出願情報などの変更ができなくなりますので、十分に確認してから登録してください。出願登録完了画面に表示されている整理番号、セキュリティコードを正確にメモしてください。申込確認や問い合わせ時に必要です。登録確認メールにも記載さ

れていますが、必ず控えてください。

- (3)証明写真(顔写真)をアップロードしていただきますが、「入学志願者調書」を印刷(出力)後は、写真の変更を行うことができません。「入学志願者調書」の印刷(出力)前であれば、再度写真のアップロード処理を行うことで登録写真を更新することができます。合格者についてはこの写真を学生証用写真として使用します。尚、顔写真の条件は以下の通りです。
- ・鮮明なカラー画像であること(白黒画像は不可)。
 - ・肩から上の上半身、正面、無帽で背景や枠がないもの。
 - ・背景は、白、青またはグレーを基調とした無地であること(背景が風景やカーテンなどは不可)。
 - ・写真加工アプリ等を用いて画像に修正を施していないこと。
 - ・画像データの形式は「JPEG」であること(ファイル拡張子は jpg)。
 - ・画像データのサイズは 100KB 以上、5MB 以下であること。
- (4)入学検定料の支払いと証明写真(顔写真)データアップロード完了後、「入学志願者調書」、「宛名ラベル」を出力し、その他出願書類と一緒に期限内に提出してください。
- (5)受験日当日までに、申込確認画面の「受験票」ボタンより受験票 PDF を白色の A4 用紙に縦向きで印刷してください。
- (6) 提出された証明書等について、公的調査機関・最終出身校・在学学校等に事実確認や真偽確認を行う場合があります。あらかじめご了承ください。
- (7) 記載事項が事実と異なる場合や、その他不正がある場合は、受験資格および入学資格が取り消されます。
- (8) 指定された出願書類以外は一切審査の対象に含まれません。
- (9) 一度提出された書類等は返還しません。ただし、修士論文については希望者に返却をします。第二次選考合格発表後 2025 年 3 月 5 日(水)までに日吉学生部大学院担当経営管理研究科後期博士課程入試係まで申し出てください。
- (10) 一度お支払いいただいた入学検定料は、原則として返還できません。ただし、以下の場合には、入学検定料を返還いたします。該当する方には第一次試験合格発表日に入試係より手続きをメールでご案内いたします。
- ・入学検定料を支払ったが、出願書類は提出しなかった。
 - ・入学検定料を支払ったが、出願締切後に出願書類が到着した。
 - ・入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった。なお、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります。
- (11) 身体の機能の障害により、受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合は、出願期間終了前に日吉学生部大学院担当経営管理研究科後期博士課程入試係にお問い合わせください。

出願書類の提出先および郵送方法

出願書類は日本国内からの出願の場合は出力した所定の宛名ラベルを封筒の宛名面に貼付の上、郵送してください。

<宛先(日本国内から)>

〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1
慶應義塾大学日吉学生部大学院担当
経営管理研究科後期博士課程入試係

<宛先(日本国外から)>

Graduate School of Business Administration, Keio University

4-1-1 Hiyoshi Kohoku-ku, Yokohama, Kanagawa 223-8526

- (1) 出願書類受理証明書等は発行しません。
- (2) **出願は全て郵送**に限ります(窓口での出願受付は行いません)。
- (3) 日本国内からは**速達(簡易)書留**, 日本国外からは**国際スピード郵便(EMS)**, **FedEx**, **DHL** 等の追跡ができるサービスを用いて上記宛先に郵送してください。
- (4) 日本国内投函の場合は**締切日の消印有効**, 日本国外からの郵送出願の場合は**締切日必着**とします。

入学検定料

35,000 円 (支払手数料が別途かかります)

入学検定料の支払は、希望する指導教員の受入許可を得たのち, 所定の期間内に行ってください。
クレジットカード支払は海外在住の出願者のみ利用可能です。

入学検定料の詳しい支払方法に関しては、以下のサイトをご確認ください。

<https://www.guide.52school.com/guidance/shared/pay-pattern/paygent-05.html>

合格発表

第一次選考合格発表

合格発表はオンラインで行います。第二次試験の日程および集合時刻についても併せて発表します。第一次選考の結果についての問い合わせには応じられません。

第二次選考合格発表

合格発表はオンラインで行います。試験の結果についての問い合わせには応じられません。

入学手続

入学手続書類記入および手続方法の詳細については、第二次試験合格者のみに案内いたします。第二次試験合格発表後すぐにインターネットでの学籍登録および入学手続書類のダウンロードが可能となる予定ですが、概略は以下のとおりです。

入学手続期間

2025年2月5日(水)～2月17日(月)

入学手続書類について

- (1) 第二次選考合格者は、入学手続書類を所定のウェブサイトからダウンロードすることによって入手することができます。なお、第一次合格者に対する手続書類はありません。
- (2) 第二次選考に合格したにもかかわらず入学手続書類をダウンロードできない場合は、必ず

問い合わせてください。

(3) 入学手続期間終了後の入学手続は、いかなる事情があっても一切認めません。

入学に必要な費用(初年度納付金)

2025 年度入学者の入学に必要な費用は未定ですが、2024 年度の入学に必要な費用は以下のとおりです。入学に必要な費用は、入学手続期間中に納入(全納または分納)する必要があります。

種別	第 1 学年
学費	
在籍基本料	60,000 円
授業料	820,000 円
その他の費用	
学生健康保険互助組合費	2,500 円
同 加入費	100 円
納入額計	882,600 円
(分納の場合の春学期分)	441,350 円
(分納の場合の秋学期分)	441,250 円

備考:

- (1) 学生健康保険互助組合加入費は、初年度のみ徴収しますが、本塾大学院修士課程修了者のうち 1 年を経過せずに後期博士課程に入学する場合には加入費は不要です(専門職学位課程修了者は除く)。
- (2) (1)を除く学費およびその他の費用については、春学期・秋学期の 2 回に分けて納入することができます。秋学期分は、在学年次の 10 月末日までに納入するものとします。
- (3) 本学が委託されて徴収する学生健康保健互助組合費については、在学中も年度により必要に応じて改定されることがあります。
- (4) 上記の他に、実習・演習(ケース研究を含む)費は別に定めるところにより徴収します。

提出する入学手続書類

入学手続には次の書類の提出が必要となります

提出書類	注意事項
在学証書	所定用紙に必要事項を記入してください。
住民票	(1) 世帯主名の記載のある住民票を該当市区町村役所で発行してもらい提出してください。 (2) 本人の住民票を提出してください。マイナンバーの記載がないものに限りません。 (3) 日本国籍以外の方(永住者を除く)は、パスポートの写し(顔写真とパスポート番号が記載されているページ)、在留カードの写し(両面)および以下の必要事項がすべて記入された住民票を提出してください。なお、入学手続時点で日本国外在住の方は「在留カード」の写しおよび「住民票」の提出は入学後で構いません。 ①国籍等 ②住民となった年月日

	<p>③在留カードに記載されている在留資格, 在留期間, 在留期間の満了の日</p> <p>④在留カード等の番号</p>
授業料等振込受付証明書	<p>【日本国内から手続する場合】</p> <p>(1) 所定用紙を用い, 金融機関の窓口にて振り込んでください。</p> <p>(2) 振り込み後, 授業料等振込受付証明書を提出してください。振込等領収証は各自で保管しておいてください。</p> <p>【日本国外から手続する場合】</p> <p>クレジットカード, ネットバンキングを利用するか, 海外送金で振り込んでください。送金手数料は本人負担としてください。送金手数料等により生じた不足分は後日, 本人に請求しますのでご了承ください。詳細は入学手続要領に記載します。</p>
安全保障輸出管理に関する誓約書	所定用紙に必要な事項を記入してください。
修了証明書および最終成績証明書(修了見込者のみ)	<p>(1) 大学院修士課程修了見込みで受験した者のみ, 2025年3月21日(金)までに提出してください。</p> <p>(2) 本大学大学院経営管理研究科修了見込みの受験生は不要です。</p>

入学手続書類の提出先および郵送方法

入学手続書類は日本国内からの場合は出力した所定の宛名ラベルを封筒の宛名面に貼付の上, 以下に郵送してください。

<宛先(日本国内から)>

〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1

慶應義塾大学日吉学生部大学院担当
経営管理研究科後期博士課程入試係

<宛先(日本国外から)>

Graduate School of Business Administration, Keio University

4-1-1 Hiyoshi Kohoku-ku, Yokohama, Kanagawa 223-8526 JAPAN

- 手続書類の提出は**全て郵送**に限ります(窓口での書類受付は行いません)。
- 日本国内からは**速達(簡易)書留**, 日本国外からは**国際スピード郵便(EMS), FedEx, DHL**等の追跡ができるサービスを用いて上記宛先に郵送してください。
- 書類の提出は**手続締切日必着**とします。

入学手続に関する注意

- 納入された費用および提出された書類は, 理由の如何にかかわらず返還しません。ただし, 入学手続終了後, 所定の期日までに入学辞退の手続(後述参照)を完了した場合に限り, 納入された費用を全額返還します。
- 第二次選考合格者が入学手続を完了しなかった場合, 失格となります。
- 入学手続期間終了後の手続は, いかなる事情があっても一切認めませんので注意してください。

入学辞退について

納入された費用は、原則として返還しません。ただし、入学手続終了後、決められた期日までに所定の方法により入学辞退の手続を完了した場合に限り、納入された費用を全額返還します。

申請期限：2025年3月31日（月）15:00 締切

奨学制度

奨学金の詳細は、以下のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.students.keio.ac.jp/hyg/kbs/>

【日本人学生対象】

●主な奨学制度

申請受付時期	奨学金の名称	給付 / 貸与	期間
入学前	小泉信三記念大学院特別奨学金	給付	1年間
4月	慶應義塾大学「研究のすゝめ奨学金」(KBS)	給付	1年間(修士2年, 博士対象)
4月	日本学生支援機構奨学金	貸与	標準修業年限
4～5月	慶應義塾大学大学院奨学金	給付	1年間(修士1年, 博士優先)
4～5月	指定寄付奨学金	給付	1年間(再申請可)
主に4月・5月	民間団体奨学金・地方公共団体奨学金	給付 / 貸与	標準修業年限のものが多い

(2024年4月現在)

【私費留学生対象】

私費留学生対象奨学金は在留資格が「留学」の学生を対象にしています。奨学金ごとの詳細は、以下の国際センターウェブサイトをご参照ください。

https://www.ic.keio.ac.jp/intl_student/scholarship/intl_student.html

●主な奨学制度

申請受付時期	奨学金の名称	給付 / 貸与	期間
入学前	未来先導国際奨学金	給付	2年間
入学前	小泉信三記念大学院特別奨学金	給付	1年間
4月	慶應義塾大学「研究のすゝめ奨学金」(KBS)	給付	1年間(修士2年, 博士対象)
主に4月・5月	民間団体奨学金・地方公共団体奨学金	給付	標準修業年限のものが多い
9月～10月頃	慶應義塾大学大学院奨学金(留学生)	給付	1年間

(2024年4月現在)

※申請受付時期は変更になる場合があります。

慶應義塾大学教育ローン制度

金融機関 4 行と提携した「慶應義塾大学教育ローン制度」が設置されています。融資条件等は金融機関によって異なりますので、事前に金融機関に詳細をご確認ください。概要は以下のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.keio.ac.jp/ja/student-life/scholarships.html>

慶應義塾大学大学院経営管理研究科同窓会

慶應義塾大学大学院経営管理研究科同窓会は、本研究科の在學生と修了生で構成される同窓会です。加入者は各界で活躍しているおよそ 4,000 名の OB・OG と在学中から交流を深めることができます。合格時にご案内をお送りします（任意制・入会金 2,000 円・終身会員費 40,000 円）。

<https://www.kbs-obkai.com/>

慶應義塾教育振興資金(寄付金)・慶應義塾債(学校債)について

慶應義塾教育振興資金 年額 一口 3 万円 （二口以上のご協力をお願いいたします。）
慶應義塾債 一口 10 万円 （三口以上のご協力をお願いいたします。）
大学院修了時または慶應義塾を離籍されるときに償還いたします。

いずれも任意ではありますが、教育充実のために多くの方々にご協力をいただいています。詳細につきましては、入学後に募集のご案内をお送りいたします。

講義案内

履修条件の概要

学生が履修すべき授業科目は、次の4つのカテゴリーから成ります。

(1) 専門科目

選択制で、6単位以上修得しなければならない。1科目は2単位。

(2) 特別実習科目

フィールド・リサーチとそれに基づくケースの開発および事例研究論文の作成を中心とし、経営管理の実践的研究を体得させる一手段として開設されている科目。1科目2単位必修。

(3) 特別演習科目

指導教授による学位論文の指導と、その基礎となる理論研究、事例調査、各種演習を内容とする科目。3科目6単位必修。

(4) ケース実習前提科目

本研究科修士課程修了以外の入学者に、ケース・メソッドによる授業を体験させることを目的とする科目。指導教授が必要と認めた場合、本研究科修士課程の諸科目から選択履修させる。

研究教育分野と後期博士課程設置科目

本研究科後期博士課程は、以下の「研究教育分野」を柱とする構成をとっています。

総合経営政策分野	生産政策分野	経営環境分野	マネジリアル・エコノミクス分野
組織行動分野	マーケティング分野	経営財務分野	会計分野

<後期博士課程設置科目(2025年度予定)>

科目 \ 分野	総合経営政策	生産政策	経営環境	マネジリアル・エコノミクス
専門科目	経営政策特論 企業戦略特論	生産経営特論	経営環境特論 産業経済分析特論 産業組織論特論 応用実証経済特論	意思決定特論 経営科学特論 計量分析特論
特別実習科目	総合経営政策 特別実習	生産政策特別実習	経営環境特別実習	マネジリアル・エコノミクス特別実習
特別演習科目	経営管理特別演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			

科目 \ 分野	組織行動	マーケティング	経営財務	会計	共通
専門科目	組織心理学特論 組織戦略特論 多国籍組織戦略 特論 国際的資源管理 特論	マーケティング 理論特論 消費者行動特論 流通経営特論	財務管理特論 金融機関経営 特論 行動ファイナンス 特論 財務理論特論	会計理論特論 実証会計特論	ケースメソッド教授 法特論
特別実習科目	組織行動特別実習	マーケティング特別実習 特別実習	経営財務特別実習	会計特別実習	—
特別演習科目	経営管理特別演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ				

課程修了の認定および学位の授与

後期博士課程修了の要件は、上記各科目群について本研究科の定める履修・修得の条件を満たし、かつ研究上必要な指導を受け、さらに学位論文の審査並びに最終試験に合格することである。

上記の要件を満たした者に対し、博士(経営学)の学位が授与される。

【お問い合わせ先】

慶應義塾大学 日吉学生部大学院担当

経営管理研究科後期博士課程入試係

〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1 協生館 2 階

電話: 045-564-2441

E-mail: kbs_admissions@info.keio.ac.jp